

日本 ALS 協会

秋田県

支部だより

第65号



目次

ALS協会秋田県支部支部長あいさつ	2
令和2年度日本ALS協会秋田県支部総会資料	
活動経過報告書	3
会計報告書	5
会計監査報告書	6
活動方針	7
会計予算書	8
秋田県支部役員名簿	9
秋田県支部規約	10
令和2年度講習会延期のお知らせ	11
インドボランティア旅行記	13
事務局からのお知らせ	
書籍紹介	16
新ALSケアブック 第二版の注文について	17
手作りマスクの販売について	18
ボランティアの募集について	19
ご寄付ありがとうございました	20
入会申込書	

あいさつ

日本 ALS 協会 秋田県支部長 安保瑠女

本来であれば皆様の前でご挨拶をさせていただくはずでしたが、今年は新型コロナウイルスの影響で総会が中止になってしまいました。

幸い秋田県は今のところ大きな広がりもなくきていますが、ニュースなどで流れる感染状況や、医療現場の様子を見て不安な日を過ごす毎日です。生活も一変しました。外出をせず、買い物はネットやヘルパーさんに頼み、来客もありません。消毒液もなかなか入手できず、医療的ケアを必要とする私たちにとっては、衛生材料の不足はまさに死活問題です。一日も早く新型コロナウイルスの感染が収束して、元の生活に戻ることを祈るばかりですが、治療法やワクチンがない中、今後も何度か流行を繰り返し、それは2年とも3年とも言われています。私たち ALS 患者にとっては、気の抜けない数年になりそうです。

今年度の行事につきましては、新型コロナウイルスの状況を注視しながら、少しでも安心できる療養生活になるよう、交流の場を企画していきたいと考えています。

この状況の中、感染予防対策を取り、変わらず訪問してくれる医療従事者・ヘルパーの皆様にご心より感謝するとともに、皆様の益々のご健勝を祈念し、挨拶に代えさせていただきます。

令和2年5月吉日

令和2年度日本 ALS 協会秋田県支部総会資料

令和元年度 活動経過報告書

年	月	日	事項	場所	内容
H 31	4	4	会計監査	ホームホスピス 秋田くらの家	平成30年度会計の監査
		17	支部便り発送	長谷部宅	第 63 号支部便り 463 部発送
		20	事務局会議	安保宅	平成 31 年度秋田県支部総会について
		21	JALSA 理事会	東京都	長谷部副支部長出席
R 元	5	19	事務局会議	安保宅	令和元年度秋田県支部総会について 今年度の支部活動について
		25	JALSA 本部 定時社員総会	戸山サンライズ (東京都)	長谷部副支部長 星事務局員出席
		26	JALSA 理事会	戸山サンライズ (東京都)	長谷部副支部長出席
	6	8	事務局会議 秋田県支部総会・交流会	遊学舎	パンフレットの設置について 参加者 55 名
		23	愛知県支部総会	名古屋市	長谷部副支部長出席
	7	20	事務局会議	安保宅	令和元年度秋田県支部総会の反省 県北・県南交流会について 第 64 号支部便りについて
	8	25	事務局会議	あきた病院	県北・県南交流会について 第 64 号支部便りについて
	9	28	JALSA 理事会	東京都健康プ ラザハイジア	長谷部副支部長出席
	10	6	事務局会議 県南交流会	サンサン横手	IBC グラント応募について 参加者 12 名
		20	事務局会議 県北交流会	大湯リハビリ 温泉病院	第 64 号支部便りについて 参加者 17 名
	11	23	事務局会議	安保宅	第 64 号支部便りについて 令和 2 年度秋田県支部総会について
	12	1~2 3	国際 ALS/MND 会議 フォーラム	パース (オーストラリア)	長谷部副支部長出席
		14	支部便り発送 事務局会議	長谷部宅	第 64 号支部便り 478 件発送 今後の支部便りの発行について 令和 2 年度秋田県支部総会について

年	月	日	事 項	場 所	内 容
R 2	1	18	事務局会議	安保宅	今後の支部便りの発行について 令和 2 年度秋田県支部総会について
	2	8	JALSA 理事会	東京都健康プラ ザハイジア	長谷部副支部長出席
		15	事務局会議	安保宅	総会案内の発送について 令和 2 年度秋田県支部総会について
	3	20	北海道東北ブロック会議	ワ・ラッセ (青森市)	長谷部副支部長出席



令和元年度 会計報告書

(2019年4月1日～2020年3月31日)

(単位円)

収入	1,163,624	
支出	799,961	
差し引き	363,663	(次年度へ繰越し)

《収入の部》

項 目	予算額	決算額	増減	内 容
日本ALS協会より	180,000	182,000	2,000	活動助成金
皆様よりの寄付	500,000	518,477	18,477	70名、2団体
赤い羽根共同募金	120,000	190,000	70,000	難病連経由
雑収入	100	0	-100	貯金利子
前年度繰越金	273,147	273,147		
計	1,073,247	1,163,624	90,377	

《支出の部》

項 目	予算額	決算額	増減	内 容
支部だより	350,000	315,692	-34,308	印刷製本費(63号64号)
活 動 費	300,000	124,225	-175,775	総会、交流会、会議費、HP
通 信 費	200,000	152,382	-47,618	送料、切手、ハガキ、電話
事 務 費	100,000	9,359	-90,641	宛名シール、事務用品
負 担 費	30,000	29,600	-400	秋田県難病連
図書購入費	10,000	40,564	30,564	ケアブック
予 備 費	83,247	128,139	44,892	弔慰金等
計	1,073,247	799,961	-273,286	

会計監査報告書

私たちは、日本 ALS 協会秋田県支部の令和元年度会計について
下記により監査したので報告します。

期 日：令和 2 年 4 月 11 日（土）

場 所：長谷部副支部長宅

対 象：貯金通帳、 郵便振替受払通知書綴


受払領収書、 金銭出納整理簿、


結 果：今回の会計監査にあたり、会計監査対象範囲に不正不明な

箇所がなく適正と認めました。

役員の立合いのもと実施しました。

令和 2 年 4 月 11 日

会計監査者 佐々木 奈子 印 

会計監査者 山口 貴美子 印 

令和2年度 活動方針(案)

1. 支部便りの発行や研修会の開催などを行います。

ALS患者の療養改善に役立つことを基本に、生きがい発見につながる患者さんからのご便り、医療福祉の専門職やボランティアなどからの情報など、参考になることを紹介します。また、療養に関する研修などを行います。

※ 皆様の情報や質問、提案、写真等、事務局にお寄せ下さい。

2. 患者訪問や地域交流会に努めます。

患者さんの療養環境を把握することにより、活動の活性化と、孤立しないための連携強化に努めます。また、地域世話人と連携協力し、県難病医療ネットワークへの対応も含め、患者会員のネットワークの充実に努めます。

3. 介護保険やその他の相談に対応します。

お困りごとは気軽に秋田県支部までご相談下さい。問題解決のため関係機関に働きかけをします。

4. 障害福祉機器の支援を行います。

意思伝達装置やコール、文字板などの操作の仕方、トラブルなど相談体制を整えます。

※ お困りの方はご相談下さい。

5. ホームページの運営をします。

ホームページを活用し、皆様への情報提供やお問い合わせ、相談等に対応します。

6. 日本ALS協会の会員を募集します。

会員会費は、年間4,000円/人で、この会費をもとに各県支部に活動助成されます。

会費納入先 『加入者名:日本ALS協会』郵便振替口座 No.00170-2-9438
〒102-0073 東京都千代田区九段北 1-15-15 瑞鳥ビル 1F
TEL:03-3234-9155 FAX:03-3234-9156

※ 日本ALS協会の入会ご案内は、支部事務局または、支部だより巻末にあります。
また日本ALS協会ホームページからもお申込できます。

令和2年度 会計予算書(案)

(2020年4月1日～2021年3月31日)

(単位:円)

収入	1,013,663	
支出	1,013,663	
差し引き	0	(次年度へ繰越し)

《収入の部》

項目	前年度予算	予算額	増減	内容
日本ALS協会より	180,000	130,000	-50,000	活動助成金
皆様よりの寄付	500,000	400,000	-100,000	
赤い羽根共同募金	120,000	120,000	0	
雑収入	100	0	-100	貯金利子
前年度繰越金	273,147	363,663	90,516	
計	1,073,247	1,013,663	-59,584	

《支出の部》

項目	前年度予算	予算額	増減	内容
支部だより	350,000	300,000	-50,000	印刷製本費(65,66号)
活動費	300,000	300,000	0	総会、交流会、会議費、HP
通信費	200,000	200,000	0	送料、切手、ハガキ、電話
事務費	100,000	100,000	0	事務用品、宛名シール
負担費	30,000	30,000	0	秋田県難病連
図書購入費	10,000	10,000	0	図書(新ALSケアブック)
予備費	83,247	73,663	-9,584	弔慰金等
計	1,073,247	1,013,663	-59,584	

令和元年度秋田県支部役員名簿(案)

役 職 名	氏 名	備 考
支 部 長	安保 瑠女	患 者
副支部長	長谷部ひとみ	遺 族
事務局長	佐藤 夕子	支援者
事務局員	鈴木 光子	支援者
	岸本 あや子	支援者 : 会計担当
	木下 彩子	支援者
	齊藤 康子	患者家族
	星 佳子	支援者
	佐々木奈々子	支援者
	武田 佳子	支援者
会計監査	山口 貴美子	支援者
	田村 沙央里	支援者
相 談 役	廣田 紘一	医 師
	豊島 至	医 師
	石黒 英明	医 師
	芋田 強	医 師
	小林 道雄	医 師
	和田 千鶴	医 師
	菅原 正伯	医 師
	鎌田 幸子	医 師
	大川 聡	医 師
	原 賢寿	医 師
	柴野 健	医 師
	松本 るい	大潟村
	地域世話人	櫻田 美穂
田中 清和		横手市
梅川 素子		横手市

日本 ALS 協会 秋田県支部規約

設 定：昭和 61 年 5 月 10 日（改：H11.9.4）（補正：H23.6.18）

1. 本会は日本 ALS 協会秋田県支部（略称：JALSA 秋田）とする。
2. 本会は、地域社会への啓発と ALS（筋萎縮性側索硬化症）をとりまく療養環境の改善を図ることを目的とし、日本 ALS 協会本部と緊密な連携をとりながら、次の活動を行う。
 - ①会員相互の交流、研究活動
 - ②患者の療養環境改善のため、常に関係者と連携し充実をめざす。
 - ③未入会患者家族への常に関係者と連携し、充実をめざす。
 - ④ALS について啓蒙や情報活動に努める。
 - ⑤その他
3. 会員は、原則として秋田県内在住の日本 ALS 協会正会員、賛助会員、特別会員をもって構成する。
4. 役員は次のとおりとし、任期は原則として 1 年、再任を妨げない。
支部長、副支部長 2 名、事務局長、運営委員（事務局）若干名、会計監査 2 名、そのほかに相談役、地域世話人を設ける。
5. 支部長は総会や役員会を開き、支部の運営に当たる（必要に応じ、地域交流会を開く）。
6. 支部総会は原則として年 1 回とし、次のことを決める。議決は出席者の過半数をもって成立する。
 - ①役員選出
 - ②活動報告、決算報告
 - ③活動方針、予算の決定
 - ④規約の改廃、その他
7. 事務所は支部長宅に置くことを基本とする。
8. 支部活動に必要な経費は寄付金、助成金、その他の収入でまかなう。
9. 会計年度は、4 月 1 日から翌年 3 月 31 日までとする。

講習会延期のお知らせ

令和2年6月14日（日）の秋田県支部総会・交流会に於いて「ALSと口腔ケア」をテーマとした講習会を予定しておりましたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から総会の中止に伴い、講習会を延期し、11月14日（土曜日）に開催を予定しております。開催のご案内については、後日改めてお知らせ致します。



『実践』手洗いチャレンジ



新型コロナウイルスの流行の勢いがなかなか収まらず、在宅療養をしている患者、御家族様は、大変心配されているのではないかと思います。新型コロナにかかわらず日々の療養生活を送る上で、介護する私たちに於いても手洗い・消毒は大切な基本行為の一つです。

参照：日本ALS協会 新型コロナウイルス感染協会対策本部

正しい手の洗い方 ※厚生労働省資料より



①手をぬらしせっけんで手のひらを洗う



②手の甲をのぼすようにこする



③指先・爪の間を念入りにこする



④指の間を洗う



⑤親指と手のひらをねじり洗いする



⑥手首も忘れずに洗う

新型コロナウイルス対策 身のまわりを清潔にしましょう。

石けんやハンドソープを使った
丁寧な手洗いを行ってください。



手洗いを丁寧に行うことで、十分にウイルスを除去できます。さらにアルコール消毒液を使用する必要はありません。

手洗い		残存ウイルス
手洗いなし		約 100 万個
石けんや ハンドソープで 10 秒もみ洗い後 流水で 15 秒すすぐ	1 回	約 0.001% (数十個)
	2 回 繰り返す	約 0.0001% (数個)

(森功次他：感染症学雑誌、80:496-500,2006 から作成)

食器・手すり・ドアノブなど身近な物の消毒には、
アルコールよりも、熱水や塩素系漂白剤が有効です。

(新型コロナウイルスだけでなく、ノロウイルスなどにも有効です)



食器や箸などは、80℃の熱水に10分間さらすと消毒ができます。火傷に注意してください。



濃度 0.05% に薄めた上で、拭くと消毒ができます。ハイター、ブリーチなど。裏面に作り方を表示しています。

【注意】

- ・家事用手袋を着用して行ってください。
- ・金属は腐食することがあります。
- ・換気をしてください。
- ・他の薬品と混ぜないでください。

インドボランティア旅行記

佐々木 奈々子

【動機とマザー・テレサ】

2019年12月14日から22日まで、インドの大都市コルカタを中心に巡る旅をしてきました。このときはもちろん、数ヵ月後にコロナウイルスの感染爆発で世界中が騒然とするとは夢にも思わず、ひたすら興奮の9日間を送ってきました。その一部を皆さまにご紹介したいと思います。

この旅の主な目的は、最も貧しい人のために尽くした聖女として知られる「マザー・テレサ」が活動した施設「ニルマル・ヒルダイ（別名死を待つ人の家）」を訪れることでした。毎年この施設でボランティアをしている知人の進藤さんが、今回の来訪で最後にするつもりと言っているのを聞き、ずっと興味をもっていた私はこの機会に同行したいと懇願しました。私は友人の佐藤さんを誘い、進藤さんと奥さま、私の4人で、インドに行くことが決まりました。



マザーハウス

【ニルマル・ヒルダイ (Nirmal Hriday, 死を待つ人の家)】

ニルマル・ヒルダイの「ニルマル」は清純、「ヒルダイ」は心の意味です。別名の「死を待つ人の家」はヨーロッパのジャーナリストが呼び始めて一般化したものです。私がニルマル・ヒルダイで行ったボランティア活動の内容は、患者さんたちの洗濯物干し、食事や傷病者の処置の介助、その後片付けなどでした。

洗濯物は、ニルマル・ヒルダイ内で職員が手洗いをした後、大きな脱水機にかけられます。患者さん100名程度の寝具や衣類などを次々に洗います。世界各国から集まったボランティアたちが洗濯物を入れるカゴを手に、屋上の洗濯物スペースまで階段で行ったり来たりします。ちなみに、ニルマル・ヒルダイで活動をするボランティアの総数は、15名程度でした。片言の英語で会話をし、出身国はイスラエル、台湾、韓国、イギリス、フランス、メキシコなどであることが分かりました。もっと英語が話せたらなあと思った瞬間です。

洗濯物の干し方、干す場所などが決まっており、担当職員から聞きながら干していきます。担当職員は英語を話さない人がほとんどだったため、身振り手振りや先にボランティアを始めていた人から聞くなどして行いました。

11時ころから休憩時間となり、チャイとバナナ、ビスケットがボランティアに提供されます。アルミのカップで飲む、温かいチャイが本当に美味しかったです。

施設は、男性棟と女性棟に分かれており、ボランティアも性別毎に分かれます。患者さん達は皆、決められた寝衣を着用しています。女性は綿の薄手のワンピースにショールを羽織っていました。ワンピースは赤の花柄、ショールは緑色など、鮮やかな色づかいと組み合わせが多かったです。また金色のピアスをしている患者さん、赤いマニキュアの人もいて、マニキュアは職員が塗ってあげているようでした。患者さんは短髪の方がほとんどでした。



ニルマル・ヒルダイの前で
右から進藤さん、佐藤さん、
佐々木、進藤さんの奥さま

ベッドは日本の簡易ベッドのよう。マットレスもシーツも薄く、決して寝心地がよさそうではありません。隣の患者さんとの距離も近く、はだしで歩いています。介護用ベッドは2,3つ置いてあり、寝たきりで終末期と思われる方が使っていました。シスターたちが医療処置を施し、介護スタッフが介助をしていました。患者さんたちの病気は分かりませんが、認知症の方や言葉が出にくい方、麻痺のある方、足にけがのある方が多かったです。体を痒がり、搔いてほしいとボランティアの手を引っ張る方もいました。

マザー・テレサの施設で長期間ボランティアをしている日本人テツさんによると、インド内の病院と比較して、マザーの施設は環境的にとても整っているそうです。人的環境を含めてです。

昼食は米に野菜のスープというメニューがほとんど。見学者がお菓子を持ってくる場面にも遭遇しました。刻み食はないのですが、職員が器用に右手で細かくしていました。私たちボランティアは難しいので、マッシャーでつぶして介助しました。

患者さんたちは慣れているのか、私たち外国人ボランティアにびっくりすることはありませんでした。患者さんたちの目の高さに合わせ、笑顔で語りかけると話し出してくれます。言葉は通じなくても、心は通じると感じた瞬間でした。ユマニチュードは万国共通でした。

ボランティア中に一人の男性が、ニルマル・ヒルダイの玄関に横たわっていたことがありました。足がひどく腫れ、意識が混濁している様子でした。このように患者さんたちが運ばれて来るようです。インドの大都市の中で、最も路上生活者が多いのはコルカタなのです。ニルマル・ヒルダイへ通う道々で、路上生活者の生活を垣間見ました。

ところで私たち女性ボランティアは、職員から「アンティ」と呼ばれました。ベンガル語で「おばさん」という意味です。介護職員「マーシー」に、「アンティ！」と呼ばれると「はいっ」と言って、指示に従いました。

ボランティアの最終日に、スタッフや他のボランティアたちから、ねぎらいの歌を歌ってもらいました。いつもこうして、ボランティアたちを送り出しているようです。Thank you, Miss you, Wish youから始まる歌はとても温かく心に響きました。

【日本は豊かな国なのか】

インドの現状を知り、滞在中は時折身の危険(!)を感じながらも、充実した時間を過ごしました。来訪から4か月が経過をして、あの混とんとした喧騒の国インドの日々が懐かしい。帰国をして日常に戻ってきましたが、豊かな国日本で過ごしながら幸せについて考える毎日です。

日本は客観的計測が可能な「幸福度」の高い国といえます。ただし、主観的に体験される「幸福感」は高いとはいえません。多くの社会問題を抱えていても高い幸福感を維持している国もあり、今後は真の豊かさとは何なのかを考えながら生活していきたいと思っています。

お知らせ

特定非営利活動法人ホームホスピス秋田が運営する「くらの家手形山」では、随時入居者様を募集しています。
癌の末期、ALS を含めた難病、認知症などになっても自分らしく最期まで、ご本人とご家族が望む暮らしができるよう、お手伝いをしていきます。

お問い合わせは下記まで。

ホームホスピス秋田 くらの家手形山／管理者 宮崎貴代美
電話：018-874-9221 / FAX：018-874-9225



くらの家手形山





書籍紹介



谷川 彰英 著

東京書籍 1500円+税

ALS と生きる

いつでも夢を追いかけていた

大学教授を退職し、地名作家として第2の人生を歩んでいた著者が突然 ALS と診断される。しかし、落胆することなく新たな夢に向かって突き進む思いをつづった書き下ろしエッセイです。

**この度著者のご友人である秋田大学客員教授の方から
支部に寄贈していただきました。**

患者さんにご家族の方に支部から送らせていただきます。

※ 冊数に若干の余裕がありますので、患者さんにご家族以外の方で

購読をご希望の方は支部までご連絡ください。

先着順となりますのでご了承ください。

Mail : als-akita@outlook.com

電話 : 090-5838-3606

F A X : 018-832-8778





編集 日本 ALS 協会

発行 川島書店

新 ALS ケアブック

第二版

川島書店

3 4 0 0 円 + 税

日本 ALS 協会秋田県支部では上記ケアブックのご注文を承ります。
1冊からでも発送いたしますので、お気軽にお申し付けください。

ご連絡いただくと払込用紙が同封されますので、到着後のお支払で結構です。

Mail : als-akita@outlook.com

電話 : 090-5838-3606

FAX : 018-832-8778





秋田県支部事務局員手づくりの
マスク発送します。

1枚400円(送料込)

いただいたご支援は支部の活動資金となります。
ご協力をお願いします。

お申込は

枚数とお名前/連絡先をお知らせください。
発送までに日数がかかる場合があります。

Mail: als-akita@outlook.com
電話: 090-5838-3606 FAX:018-832-8778

協力してくださる方を募集しています

秋田県支部では運営を手伝ってくださるボランティアを募集しています。

□ 主 旨

支部の活動は、この厳しい ALS(筋萎縮性側索硬化症)で闘病されている方達と共に、日本 ALS 協会と連携をとりながら療養環境改善や社会への理解を深めることを基本にして、具体的には下記のような活動しております。

□ 具体的活動

- 1) 総会を開催して、会員互いの理解と交流を図っています。
- 2) 研修会を開催します。
- 3) 患者さんたちへ訪問します(慰問と話し合い・闘病の課題確認など)。
- 4) 患者さんの相談ごとを受けたり、関係行事や情報を発信したりします。
- 5) 支部だよりを年 2 回発行し、情報の基幹としています。
- 6) 事務局会議を月 1 回(土曜日)開催しています。
- 7) その他 ALS 患者を支援する事項に対応します。

□ 現在の事務局

現在、事務局は医療関係者・患者家族・ALS 患者などさまざまです。どなたでも力を貸していただければ大変助かります。

□ 募 集 対 象

年齢・性別・経験等は問いません。

自分の持つ能力を前向きに、他人のためにも生かそうと意欲をもっておられる方。

□ 連 絡 先

住 所 : 〒010-0003 秋田市東通7-4-26 長谷部方

電 話 : 090-5838-3606 (事務局)

F A X : 018-832-8778 (事務局) FAX 番号が変更になりました

Email : als-akita@outlook.com

日本 ALS 協会 秋田県支部

ご寄付ありがとうございました

令和元年 10 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日

敬称は省略させていただきます

- | | | | |
|--------|---------|---------|---------|
| ・長門百合子 | (秋田市) | ・安保瑠女 | (秋田市) |
| ・鈴木幹 | (大仙市) | ・木下綾子 | (秋田市) |
| ・黒川博之 | (秋田市) | ・鎌田稔 | (秋田市) |
| ・八嶋美保子 | (大仙市) | ・工藤俊輔 | (秋田市) |
| ・田口良実 | (秋田市) | ・佐藤サツ子 | (秋田市) |
| ・長門建作 | (八峰町) | ・花塚敏子 | (大湯村) |
| ・楠瀬美由喜 | (高知市) | ・櫻田美穂 | (能代市) |
| ・伊藤久美子 | (潟上市) | ・秋田友の会 | (秋田市) |
| ・佐々木恵 | (八峰町) | ・谷本須美子 | (高知市) |
| ・菊池恵子 | (横手市) | ・加治谷悠紀子 | (岡山市) |
| ・有志 | (秋田市) | ・原賢寿 | (秋田市) |
| ・芳賀友子 | (秋田市) | ・田口和也 | (大仙市) |
| ・戸嶋洋子 | (大仙市) | ・大内東香 | (秋田市) |
| ・橋本昭平 | (大館市) | ・阿部道一 | (鹿角市) |
| ・若松ナミ | (秋田市) | ・石田あや子 | (仙北市) |
| ・炭元サダヲ | (大湯村) | ・伊藤幸子 | (秋田市) |
| ・成田トモエ | (秋田市) | ・長田乾 | (秋田市) |
| ・金田洋子 | (秋田市) | ・大和田勉 | (秋田市) |
| ・和田千鶴 | (由利本荘市) | ・小林道雄 | (由利本荘市) |
| ・佐藤夕子 | (秋田市) | ・井上佳奈 | (秋田市) |
| ・小坂順子 | (横手市) | | |

皆様の心のこもるご寄付は、支部活動の源となっております。

ご厚志に深く感謝申し上げます。

郵便振替

口座番号:02510-3-7658

加入者名:日本 ALS 協会秋田県支部

ご寄付のお振込みは上記へお願いいたします。

* 日本 ALS 協会へ入会希望の方は、次頁『入会申込書』を FAX しますと
会費納入の振込票が送られてきます。

FAX 018-832-8778

※(太ワケ内の該当する部分をご記入ください)

日本ALS協会
会長 殿

入会申込書

私(当団体)は、貴会の趣旨に賛同し次のとおり入会を申し込みます。

年 月 日

フリガナ	
入会者氏名	性別 (男・女) 昭和・平成 年 月 日生 (才)

団体の場合	フリガナ
	団体名
	フリガナ
	代表者氏名

- 正会員 議決権を持つとともに、会運営上の責任を分かち担う
(個人のみ) (患者・同居家族は原則として正会員) 年会費 4 千円
- 賛助会員(個人) 年会費 4 千円 × 口数 口
- 賛助会員(団体) 年会費 5 千円 × 口数 口

会員区分	<input type="checkbox"/> 患者本人	<input type="checkbox"/> 同居家族	<input type="checkbox"/> 別居家族
	<input type="checkbox"/> 親族	<input type="checkbox"/> 遺族	<input type="checkbox"/> その他一般
	<input type="checkbox"/> 医師	<input type="checkbox"/> 医療・保健・福祉関係	
	※専門職の場合、科目・職種 ()		

住 所 (会報等 送付先)	1. 自宅 2. 勤務先 3. その他 〒 (-)
	TEL FAX
	Eメール

入会者が次のいずれかの場合はお書きください

- 患者本人である ⇨ 家族名 続柄
- 家族・親族である ⇨ 患者名 続柄

勤務先 (医療/福祉関係者はなるべくお書き下さい)

業 種 (団体会員の場合はお書き下さい)

協会 使用欄	(摘要)	(会員番号)	入力日	担当者
-----------	------	--------	-----	-----

き
り
と
り
線



編集後記

新型コロナウイルスの流行による巣ごもり生活が続く
中、季節はいつの間にか春となり、新緑の季節となりました。

さて今回は、総会資料を中心に、総会で開催を予定して
おりました講習会の紹介、事務局員のボランティア旅行
についてお届けいたします。

これからも少しでも皆様のお力になれますよう、支部の
活動を続けて参りたいと思います。皆様のご支援とご協力を
よろしく願いいたします。（た）

